

「多角的データを用いた心不全患者の長期予後に関する後ろ向き観察研究」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2025 年 08 月 14 日から 2026 年 7 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

心不全は日本における主要な死亡原因の一つであり、高齢化の進展に伴い、その有病率は今後ますます増加することが予測されます。心不全患者の予後は非常に不良であり、長期的な死亡率や再入院率を低減するためにはリスク評価と高度な治療戦略が求められるようになっていきます。本研究では、電子カルテに記録された多角的データ（バイタルサイン、検査値、画像所見、治療歴、併存疾患、生活背景など）を用いて、心不全患者の長期予後（死亡、再入院等）に関連する因子を後ろ向きに検討することを目的としています。多面的な視点からデータを統合的に解析することで、より精度の高い予後予測モデルの構築や高リスク群の抽出が可能となり、個別化医療や予防的介入の最適化につながることを期待されます。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日の間に、心不全の診断で入院となった患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服薬、血液検査・心電図・胸部レントゲン・CT・エコーなどの検査結果、治療方法、治療結果などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出します。新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、小倉記念病院病院長の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 循環器内科 担当者 宮本圭介 松井健人 吉野佑 金縄健治
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）